



# 家庭の同行 11

## ひき出されてゆく生きる力

どう ぎょう

くだかけ会代表

和 田 重 良

- 穴のあきそうな心を「充たしてくれる」もの
- つないだ手は離さない「信じている」こと
- あそこに帰れば迎えてくれると

「あんしんできる」こと

## 「性」のこと

南足柄の「あんしん講座」はいよいよ「親と子のかかわり方提言の第2弾」シツカリしろについて考える」に入りました。

くだかけ会の事務所がある南足柄の講座はいわば地元ですのでたくさんの方が参加して下さいととても充実しています。ありがとうございます。(テープを貸し出し中)

### 「知」なのか「情」なのか

世間一般に行なわれている「性教育」がどんなものであるかよく分りませんが、子どもが大人になって行く成長の中に「性的成長」という大事な大事なことがあるので、それがどんな風に大事なのか、「人生にとってどういう目的と意味があるのか」を少しお話ししてみたいと思います。

人間の「性」に関する行動はやはり他の動物とは大きく異なっているというのには、「知」や「情」が数段複雑だからです。結婚なんてことを社会的なキマリゴトにしているくらいですからコントロールしなきゃあ、いろいろ混乱するようになってちやうのです。それで、「頭で解らせて理屈でコントロールさせよう」と試みるわけです。ところが、ぼくは「性」のことってやはり「情」が優先

### 和 田 重 正 言 葉 抄

#### はじめに立つ

あせつても得にならないことは百も承知しているながら、好まぬ状態が続くと焦らずにいられないのが人情です。しかし人情だからと言って焦りの有害無益を見逃してくれるほど運命の神は甘くないのが厳然たる事実です。そこで人々はこの人情と事実の間に挟まって苦しみますが、それを解決する妙手があるのでしょうか。これが天下分け目の大問題です。いや、それほど大袈裟に言うようなことではなく、極めて身近で簡単な道があるので。その道を活用すればこのジレンマは易々と解消できます。それはアキラメでしょうか。なるほどアキラメがつけば焦りは消えます。し

すると思っっているのです。

#### 男と女の差って？

まあよく一般に言われていることですが、人類はやはり「種」から言うと女性が主流だと思っのですが、社会的には男性が主流をなしているような気がしてしまいます。と言うことは、やはりそれぞれの特徴があるからなのでしょう。

男と女があつて人類は成り立っているのですし、だからずっとずっと進歩と退歩をくり返しながらも何百万年も人類は続いているのです。

そこに複雑な「情」のやりとりがあることも事実です。そこが「性」の意味の最も大事な部分だと思っのです。

生物に雄と雌のある意味は説明しなくても歴然としていますが、人間の男女はやはり互いのことを「分り合えない」という前提で、その上で互いを活かし合うことが必要なので。ところが、その差を形や行動として知識で

伝えようとするわけです。

#### 互いに活かし合うこと

性欲と言う欲望も不思議なことですが、これを「知」から導こうとすることに少し無理があります。やはり「情」を優先させて、相手のある行為だからこそ、お互いを大切にすることから伝えて行きたいのです。

男の子だったら「女性はものすごく大切な役割をもっているし、大変なんだ」というふうに。女の子だったら「男性はありがたい存在であつてなくてはならないんだ」というふうに伝えます。

そして、お互いが活かし合うことができいくのが人間だけが持っている「性」の特徴なのだということです。

子孫を残すことだけが「性」の意味ではないことは人間の性欲がらみの事実なのです。(猿の一部に近い特徴を持っているものがあるようですが) ぼくが前に書いた「老話」の中に「合歡の花」というお話があります。

かし人はそれほど自分の気持を易々と操作できるでしょうか。そしてアキラメは無気力と捨鉢に通じます。ですからそれは正解ではありません。

正解は、いまが出発点だ、ということをよくよく理解することで。自分はいつでも過去の最先端である今に立っていて、これから何をしようが全く自由である」という事実くらいは誰にでもわかるでしょう。一番やさしい理屈です。これがわかれば万事解決。アキラメには先がないが、今に立てばあるのは先ばかり。

(昭和56年 くだかけ三十一号より)

性欲の味わいは心の安らぎになっていくというお話です。まあ一度読んでみて下さい。形にとらわれることなく男女は互いに活かし合つて、大切に合つていくことが何より大事です。 ぼくは子どもの頃から父に「食」「性」「睡眠」の本能が一番近い欲望には儀式が必要で人間らしくなければならぬ……というようなことを教わつてきました。

#### 思 春 期 の 性 衝 動

思春期の性衝動をどこまでニコニコして見ていられるかということは大変難しいことです。殊に昨今のように「インターネットやケータイ」で無軌道な情報や映像で視覚だけで刺戟を受けていたのでは、皆異常になってしまうのではないかと心配になるのです。性は「快」だけでなく「不快」もある。性は求め合うことで一体感や連帯感がある。性の知識は後から知っていけばいい。性の情報はやはり要注意 などなど言いたいことはたくさんありますが、

テキストに注意事項も書いてありますからそれをご覧ください。 4月号にはふさわしくない話題のめぐりあわせになってしまいました。生活教育の重要な人生の項目ですからお許し下さい。次号は「お金について」の予定です。

### 一 口 ぐ ち

男性女性お互いに知り合うことで 人生は豊かになり、実りもあります。 自分勝手はゆるされません。 「相手を活かすことで自分も成長できる」ということは「性」のことも同じです。